

## 母校応援報告－1

# 「秋工」ラグビー Aシードへの道程



平成24年2月8日～11日に開催された第21回東北高校新人ラグビー大会は1回戦黒沢尻工業(岩手)を86対3、準決勝仙台育英(宮城)を26対0、決勝盛岡工業(岩手)を89対0と完封し優勝を飾った。その勢いで3月31日～4月7日開催の全国高校ラグビー選抜大会に臨み、予選リーグは日川(山梨)5対0、長崎北(長崎)60対7、伏見工業(京都)14対8、3連勝で決勝トーナメント進出、決勝トーナメント1回戦は、桐陰学園(神奈川)22対13で勝利、準決勝で東福岡8対17、事実上の決勝戦と言われるほどの白熱戦であったが、残念ながら勝利することは出来なかった。しかし、全国レベルの強豪校と互角に戦う戦力が整いつつあると感じた大会でもあった。

6月の全県総体ラグビー準決勝は金足農業104対0、決勝は秋田中央69対0と完封勝利して東北高校ラグビー大会に出場、1回戦は盛岡工業88対0、準決勝で平工業86対0、決勝戦は青森北を30対10で破り優勝した。

10月に第92回全国高校ラグビー大会秋田予選が始まり2回戦は秋



▲写真提供／秋田魁新報社



田南126対0、準決勝は金足農業67対5、決勝は秋田中央を45対0で降し2年ぶり64回目の全国大会出場を決めた。黒沢光弘監督の戦力分析では、「基礎基本を重視して、FW・BK一体となったオーソドックスなアップテンポラクビーを目指し、また、低く、鋭く、刺さるタックルで前に出ることを心がけて練習してきた。機動力のある大型FWで突破を図り、伝統のドライビングモールも武器に試合で体を張るように基本的な練習を反復で行ってきた。今年のチームはこれだけはどこにも負けないと自負している」と述べている。第92回全国ラグビー大会はAシード校として12月30日から出場。



東京秋工会のラグビー愛好者としては、今シーズンは久しぶりに強い秋田工業が見られると思っており、Aシードは伊達じゃない。高校日本代表候補を5人擁し、約25年遠ざかっている全国制覇を本気で狙っている。濃紺と白の伝統のジャージは 今シーズンの花園で オールドファンだけでなく新規のファンをも魅了するものと期待し、京都駅前にウイークリーマンションを12月30日～1月7日まで確保し全試合「なまはげ」衣装で応援した。



2回戦では、若狭東(福井県)を48対0で降し、1月1日の3回戦では、青陵(愛知県)を66対6で降し、準々決勝に進んだ。

準々決勝では、御所実業と戦い、秋田工業は前半9分ゴール前左中間ラックからモールをつくり6番が左中間にトライ、ゴールも成功し7対0で先行したが、御所実業も前半29分ゴール前ペナルティからモールをつくり、9番が左中間にトライ、ゴールも成功し7対7の同点で前半を終えた。後半戦は御所実業が12分、28分にトライを決め、連続ゴールに失敗して7対17とリードされた。秋田工業は後半32分ゴール前左中間ラックから21番⇒10番⇒14番とつなぎ、右中間にトライを決めゴールは失敗し、健闘したが、秋田工業12対御所実業17で敗れた。FWにキープ力のある両チームはキックの少ないゲームでチャンスにモールを押した御所実業が競り勝った試合であるが、敗れた我が秋田工業の選手にも健闘の大きな拍手が送られた。

### ◆記事

**小野 鐵雄** 昭和38年土木科卒  
東京秋工会 監事



[www.saito-group.com/](http://www.saito-group.com/)

株式会社 齋藤建設

〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷4丁目5番8号

TEL.0467-25-0567(代)

FAX.0467-23-3972

取締役 北 埼 博(昭和44年建築科卒)

